

2018年4月10日
テオリア第67号

定価 350円
毎月10日発行
定期購読料 年間 4000円
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア
東京都千代田区内神田1-17-12
勝文社第二ビル101
TEL & FAX 03-6273-7233
ホームページ
http://theoria.info
E-mail: email@theoria.info

「明治150年」を徹底批判する



森友疑惑徹底追及！安倍内閣は総辞職を＝3月27日、国会前

「明治150年」を徹底批判する

2018年、安倍政権は「明治以降の歩みを次世代に遺す」「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」という「基本的な考え方」に基づく明治150年記念事業を大々的に推進。内閣官房に関連施策推進室を作り、自治体にも記念事業の実施を求めている。

2月24日の講演(2/5面に要旨掲載)で山田朗さん(近現代史)は、明治礼賛の「明治150年史観」を批判。改憲問題とは、根本的には歴史認識問題であると指摘。「明治150年史観」(明治礼賛論)は近代日本歩みの肯定的評価に立ち、戦争・植民地支配・自由の抑圧に対する反省がなく、9条改憲論の基盤になっていると喝破した。

15年8月、安倍は地元山口で「明治50年、100年も山口出身の首相だった」と長期政権への意欲を見せ、今回の記念行事となった。

1918年、寺内正毅内閣はシベリア干渉戦争を開始。68年、佐藤栄作内閣は米国のベトナム侵略戦争を支持していた。現在、安倍政権は海外での武力行使へ敵基地攻撃能力保有、9条改憲に進もうとしている。

68年青年学生は反乱を起こし、米騒動は寺内政権を打倒した。民衆の闘いの歴史から学ぶのは政権か、それとも私たちが。(3月24日)

座標塾第14期 (2018年3月～11月)

- 第1回 リベラルとは何か 3月9日(金)終了
- 第2回 ポスト・グローバル化の政治 5月18日(金)午後6時半
- 第3回 税と社会保障、ベーシック・インカム 7月20日(金)午後6時半
- 第4回 リーマン・ショックから10年 ―資本主義はどう変わったか― 9月14日(金)午後6時半
- 第5回 9条加憲論を批判する 11月16日(金)午後6時半

講師 第2回 大井赤彦 (日本学術振興会特別研究員)
第2回以外 白川真澄 (ヒープルス・プラン研究所)

会場 文京シビックセンター(3回目以降予定)
参加費 通し4000円(会員2500円)
1回1000円(会員500円)
※要申込 研究所テオリア 03-6273-7233

シリーズ：1968～69年反乱から50年「1968年」再考：「叛乱の時代」を問い直す
松井隆志(武蔵大学教員、社会学)
6月16日(土)午後6時半/要申込
文京シビックセンター(予定)
研究所テオリア

インフォメーション
明治150年..日本による沖縄差別を問う
4月28日(土)午後6時/文京区民センター/実行委員会
反「昭和の日」デモ
4月29日(日)午後2時/常盤公園/実行委員会
9条改憲NO!平和と人権を15・3憲法集会2018
5月3日(木)午前11時/有明防災公園/実行委員会

紙面紹介
「明治150年」徹底批判 なせ歴史を歪曲するのか
山田朗..... 2～5面
AIが変える世界 滝川一郎..... 6～7面
森友疑惑と安倍政権..... 7面
福島県民集会/沖縄不当判決..... 8面

「明治150年」徹底批判

なぜ歴史を歪曲するのか

山田 朗

明治大学・日本近現代史

【2月24日、国連・憲法問題を歪曲するのか】を開講。題研究会講演会『明治150年』徹底批判 なぜ歴史学。以下、文責編集部】

はじめに

私は明治大学教員です。明治大学は明治天皇が作った大学でもなんでもなく、明治の初めにできた、明治10年代は一つの明治ブーム。企業や大学の名称に明治を付けたところが多



「明治150年」をどう見たらいいか。安倍首相は「明治50年

明治100年も山口県出身

の首相だった」と発言している。明治50年の首相は寺内正毅。1918年「明治50年」、寺内内閣は「シベリア出兵」を強行して、コメの値段が高騰。庶民の怒りを買って、米騒動の中で倒れた政権が「明治50年」の寺内内閣。

「明治100年」の時の内閣は佐藤栄作内閣。「明治100年」の時に何が行われたか。

それは紀元節復活。「建国記念の日」を「明治100年」までに実現しようとした。前年1967年には最初の「建国記念の日」が行われた。

だから、明治50年、100年、150年という節目に政権が何をやるのか。かなりはっきり現れている。

日本の近代150年は概ね戦前80年、戦後70年に分けられる。現在9条改憲論が持ち上がってきている。改憲問題とは根本的には歴史認識問題。もちろん、安全保障問題でもあるが。近代日本の歴史をどう見るかが改憲論の土台にある。このことを前提に話をした

い。

9条改憲論の多くは明治礼賛論をベースにしている。《明治時代はよかった》。明治時代のようないかたが本来の国のあり方だ。とこういう考え方をベースにして改憲論が唱えられている。

改憲論と

「明治150年史観」

この「明治150年史観」(明治礼賛論)歴史修正主義を克服していくためには何をしなければいけないのか。「明治時代は明るい面もあるけど、こういう暗い面もある」という部分肯定論もある。

しかし、明治礼賛論のクライマックスは日露戦争。《アジアの小国日本が明治維新を経て、30数年間で大国に伍する国になった。そして、大ロシアを打ち破った》。サクセスストーリーとしてでき上がっている。

この日露戦争論をもう一

なっている。生前退位や女性天皇は前近代には何ら不思議なことではなかった。

それが明治時代に女帝はダメだ、生前退位もダメだと決めた。現在の皇室論のベースにあるのは明治時代の皇室論を基準にした考え方。そういう意味で現在の9条改憲論のかなりの流れは明治礼賛論にある。

天皇生前退位問題も、明治時代の皇室論が土台に

度考えないと、明治時代を見直すことにならない。《日露戦争のような立派な事例もあつたが、そうでない事例もあつた》と言っている。は、いつまで経っても『日露戦争は立派なことだ』でとどまってしまう。

日露戦争の本当の姿は何か。日本人がやった戦争だから、日本人がよく知っていると。実は日露戦争の本当の姿を日本人が知らない。これが大きなポイント。

当時戦場の記事はどのよう

て記事にしたものもあるが。ほとんどの新聞報道は外国の新聞報道の翻訳。外国、特にイギリスで報道されたタイムズ紙、ロイター通信などの情報を日本人が翻訳して掲載した。

だから、そこには既にフィルターがかかっている。イギリス人、アメリカ人が見た日露戦争。それを日本人が自分の目で見て体験したかのように思っている。

改憲問題は歴史認識問題である。日本国憲法9条は近代日本の歩みに対する反省として制定され、尊重されてきた。憲法制定へのGHQのやり方が強引だったことは間違いないが、戦争放棄という考え方はマッカーサーが言い出す前に、幣原喜重郎も言っている。そういう点からすると、すべてが押し付けであるというわけではない。

近代日本の歩みに対する反省がベースにあった。確かに憲法は、当時国際的に見ても先進的なものだった。多くの日本人がそれを受け入れてきた。この事実が重要。もう戦争は繰り返さないと感情に裏付けられていた。

戦争、植民地支配、自由の抑圧に対する否定的評価、全面的反省が9条護憲論の基盤にある。そういうことを繰り返してはならないという考え方。

逆に言うと、9条改憲論にはいろんなバリエーションがあるが、その多くが戦

争、植民地支配、自由の抑圧に対する反省がない考え方。あるいは明治はよかったが、昭和になって悪くなった」と部分的な反省を含んでいるものもある。満州事変まではよかったとか。大体、あそこをやめておけ

ばよかったというのは、博打で失敗したときに出てくる弁(笑い)。

実際はそういうものなのか。満州事変は言うに及ばず、その前の戦争もどうだったのかを検討したい。

9条護憲論のベースには失敗事例から学ばなければならぬというのがある。戦前日本の戦争・植民地支配・様々な失敗事例から学ぼう、こういうことを繰り返さないという考え方。どういふことかという

と、多くの歴史家・歴史哲学者が言っている共通事項は、失敗から学ばないものは失敗を繰り返す。逆に言うと、今の「明治150年」という考え方は、明治時代の「成功事例」に学ぼうという考え方。成功事例には日露戦争が入って

くる。「成功事例」を再現したい。成功事例の再現というが、現象的に成功だと思われている歴史上の事件は繰り返さないもの。なぜか。成功事例には一過性の世界的な条件がある。アベノミクス政策の延長には高度成長のようなものをもう一度という思いが常にある。しかし、高度成長は絶対に再現しない。日本の高度経済成長には歴史的環境がある。石油1バレル10ドルの時代だった。いまは1バレル100ド

ルの時もある。水よりも石油が安い時代。だからこそ、遠くの海外から石油を輸入して経済成長政策を遂行できる。まさに一過性の繰り返すことができないような歴史的条件。その条件で50年代半ばから70年代半ばまで経済成長が行われる。

だから、前提条件が全然違うところで繰り返そうとしても、無理な話。成功事例に学ぶのは、それ自体は悪いことではない。成功事例と言われているものは本当に成功なのか。この検討がされないままになんとな

この明治はよかったが、昭和はダメだという考え方の典型が司馬遼太郎。『坂の上の雲』が書かれた1960年代頃の考え方は基本的にそういう歴史観だった。明治時代こそ見習うべき良い点がある。昭和になるとどうしてこうなったのか。司馬は学徒出陣組。自分が体験した戦争に対しては批判的だった。《素晴らしかった明治があるにもかかわらず、どうして昭和に

くうまくいった日露戦争を成功であるとみなした。《小国日本が段々成長していつて大国に勝つ》成功だと思

なして、かくあるべし。こういう議論をする。落とし穴は、成功だと思っていたことが成功でなかったことがある。あるいは成功だと思っている要因が急速に失敗の原因に転化する。

9条改憲論の基盤をなす歴史認識はパワーポリティクス・戦争・植民地支配・人権抑圧を決して反省しない。あるいはあったことをなかったこと見なししてまう歴史修正主義的な考え

方。明治礼賛論には昭和の戦争に対しては批判的な立場をとる人もいる。ただ明治時代はよかった、昭和の一時期まではよかった。大体、日中戦争以降が良くなかった。部分的反省にとどまっているのは確か。

今でも「明治150年史観(明治礼賛論)」には司馬史観がある。実は、私はかなり前から司馬遼太郎の歴史観を批判してきた。これが評判が悪い(笑い)。同業

司馬史観と明治礼賛

この明治はよかったが、昭和はダメだという考え方の典型が司馬遼太郎。『坂の上の雲』が書かれた1960年代頃の考え方は基本的にそういう歴史観だった。明治時代こそ見習うべき良い点がある。昭和になるとどうしてこうなったのか。司馬は学徒出陣組。自分が体験した戦争に対しては批判的だった。《素晴らしかった明治があるにもかかわらず、どうして昭和にな

くうまくいった日露戦争を成功であるとみなした。《小国日本が段々成長していつて大国に勝つ》成功だと思

者の歴史学者から批判され

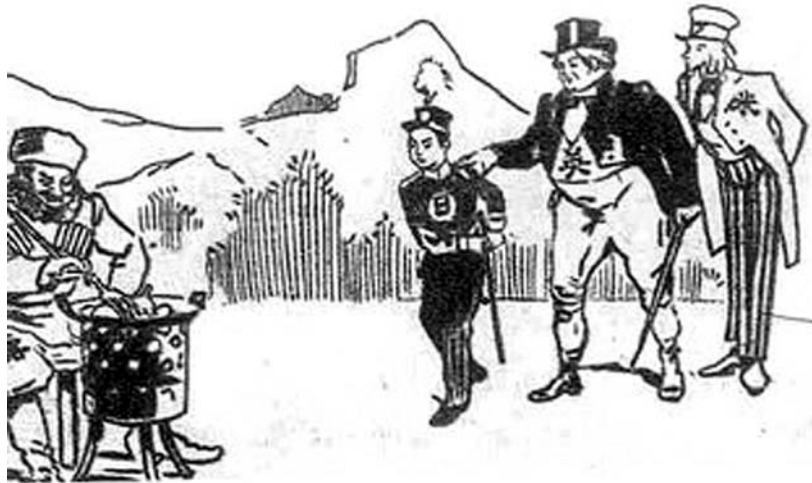
なぜか、歴史学者の多く

確かに歴史と小説は違

司馬史観の恐ろしいと

これは非常に叙述が巧み

例えば、作品中で山形有



日露戦争の風刺画

それが一番基本的な性格

「世界を巻き込んだ第一

先の大戦では、三百万余

た。祖国の行く末を案じ

原爆投下、東京をはじめ各

都市での爆撃、沖縄におけ

で触れるが、日英同盟の役

残しているのか。司馬遠太

「先生、事実はどうだっ

明治150年史観の「安倍談話」

これは現在の9条改憲論の

その後、日本の山東出兵

これはほとんど触れない

このことに触れないとい

もう一つは中国との戦争の

無視。中国との戦争に一切

触れない。敗戦と言ったら

アメリカとの戦争での敗

戦。明治礼賛史観が日露戦

か。どのように出てくるの

「終戦七十年を迎えるに

心静かに振り返り、その歴

百年以上前の世界には、

西洋諸国を中心とした国々

の広大な植民地が、広がっ

ていました。圧倒的な技術

優位を背景に、植民地支配

の波は、十九世紀、アジア

にも押し寄せました。その

近代化の原動力となったこ

とは、間違いありません。

決の動きが広がり、それま

での植民地化にブレイキが

かかれました。この戦争は

「破壊者」なら分かるが。

安倍談話では日本が一番長

く戦争をやった中国が出て

こない。この間いろいろあ

るでしょうと思うが、いき

なり敗戦になる。私は「空

白の日中戦争」と呼んでい

る。あえて見ようとしてい

ない。

割は決定的なものだった。

「日中戦争の空白」は満州

事変から敗戦まで飛んでし

まうということからも解

る。そこに触れたくない。

安倍談話というのは、日本

の戦争に関する談話のはず

だったのに。村山談話で

言った「日本の植民地主義

と侵略」という部分がポイ

ントで、そこは残った。

明石元二郎は変人であ

戦争の背後に軍事同盟

なぜそういう構造になっ

たのか。情報がどこから出

てくるのか。日英同盟の

盟の最初の役割ということ

(4面へ続く)

(3面から続く)

ロシア人は何人いたのか。1人。ドイツ哲学の教師。ということは、ロシア人の考え方、ロシアの情報が入らない状態。

19世紀の世界で一番激しく対立していたのがイギリスとロシア。バルカン半島、アフガニスタン、極東で英露は激しく対立する。バルカン半島、アフガニスタン、極東での対立とは現在の話のようだ。大陸勢力と海洋勢力が対立する場所は大体同じ。当時、海洋勢力の代表がイギリス。大陸を支配する代表がロシア。

イギリスとロシアが激しく対立しているが故に、ロンドン経由で入ってくるのはロシアは怖いぞという情報。日本は地理的にロシアに近いということもあるのだ、当時の国家指導者たちは真に受けてしまう。だから、実態以上にロシア脅威論が蔓延する。

日本が朝鮮半島に進出していく。ロシアの脅威に先手を打つという考え方。ロシアがどんどん南下してきて朝鮮半島を占領するぞと。だから、先に進出して朝鮮半島を確保すると。ロシア脅威論に基づく朝鮮進出論。実際は朝鮮半島には清国が影響力を持っていたので、日清戦争となった。

しかし、日本が朝鮮半島に出ているとした最初の動機は、清国ではなくロシアの脅威。だから、ロシア脅威論というのは、日本人

が自分たちの目や耳で感じた脅威ではなく、イギリス経田の情報でイギリスから吹き込まれた脅威論。脅威論の本質がここに示されている。当時から脅威論とはどこから吹き込まれるもの。そして、朝鮮半島先取論でどんどん出ていく。最初に清国と衝突して日清戦争が起きる。10年後には日露戦争。

世界のマスコミ、特に英米の新聞・通信社がロシア軍の情報に日本側にどんな提示してしまおう。さらに世界の反ロシア世論を英米マスコミが主導して形成する。日本国内では「世界最強のバルチック艦隊」という虚像が成立してしまう。

イギリスの日本に対する支援

世界のマスコミ、特に英米の新聞・通信社がロシア軍の情報に日本側にどんな提示してしまおう。さらに世界の反ロシア世論を英米マスコミが主導して形成する。日本国内では「世界最強のバルチック艦隊」という虚像が成立してしまう。

実は、英米マスコミはバルチック艦隊について非常に低い評価しかしていません。ところが、低い評価をした記事は日本の内務省の検閲で載らない。国内引き締め策の一環で「バルチック艦隊は怖いぞ」という記事は載る。

実際に英米の新聞にはどのような記事が載っていたのか。バルチック艦隊の出航直後に、イギリス近海でドッ

が自分たちの目や耳で感じた脅威ではなく、イギリス経田の情報でイギリスから吹き込まれた脅威論。脅威論の本質がここに示されている。当時から脅威論とはどこから吹き込まれるもの。そして、朝鮮半島先取論でどんどん出ていく。最初に清国と衝突して日清戦争が起きる。10年後には日露戦争。

「まゆつばもの記事」とは日英側が流しているデマ情報。このように、既に神経が行われている。そして、バルチック艦隊がだんだん日本に近づいてくる。1905年2月10日付イギリス紙『ブースチャイナ・ヘラルド』には「来航する無敵艦隊」という見出しで以下のように報じた。「無敵艦隊」というのは皮肉だが、非常に面白いことを報じている。

「海底ケーブルが世界中に敷設されたことより、都合な事態、ロシア艦隊に」として好ましくない事態が生まれた。…艦隊が行方にくらますのは今や不可能で、世界中に新聞社や電報通信社の通信員が散らば

り、ロシアの旗を目にしたら、たちどころに日本人に知らせようと待ち構えている。「中略」

旅順のロシア艦隊にはロシア海軍の精鋭が乗り組んでいたが、日本軍に対し何もなし得なかった。来攻する無敵艦隊のようにこれほど雑多な集りでは、乗組員の質が悪く、あらゆる種類の補助艦艇で動きのとれない艦隊にいったい何を期待できようか?」(出典:内川芳美・宮地正人監修『外国新聞に見る日本』第3巻(毎日コミュニケーションズ、1992年)所収。)

非常にシビアな評価で外れていない。バルチック艦隊は雑多な船を集めたために動きがうまくとれない。艦隊は一番遅い船に合わせてざるを得ない。新旧雑多な船を混ぜてしまうと、どんなに最新鋭な船があっても、足が遅い船に合わせるので機能を発揮できない。たくさん送り込めば日本は屈服するだろうとたくさん送り込んだ。ロシア側の失敗。先に出発させた船をマダガスカル沖、ベトナム沖で長く停めて、段々と集めた。日本にしてみたら、早く来られるのが一番困る。しかも、新旧雑多な船を混ぜた艦隊という戦略の失敗。イギリスの新聞はそれを見抜いている。

バルチック艦隊が日本に近づいた1905年4月9日付のアメリカ紙『ニューヨーク・タイムズ』は

「ロシアが日本に勝って制海権を握ろうという、最後のほかない望みに決着をつける海戦が、マレーの水域で行われる可能性の方が強い。…机上に列挙できる海軍力の要素のすべてにおいて、日本が圧倒的にまさっている。…すでに戦いに敗れる運命にある英雄たち(バルチック艦隊のこの)に、世界はかたずをのんで脱帽している。」(出典:同前。)

海戦はマレー沖というのが速い船が多いから打って出てくるぞとウソ情報を流し、動揺するロシア側を緊張させている。

「ロシアが日本に勝って制海権を握ろうという、最後のほかない望みに決着をつける海戦が、マレーの水域で行われる可能性の方が強い。…机上に列挙できる海軍力の要素のすべてにおいて、日本が圧倒的にまさっている。…すでに戦いに敗れる運命にある英雄たち(バルチック艦隊のこの)に、世界はかたずをのんで脱帽している。」(出典:同前。)

「ロシアが日本に勝って制海権を握ろうという、最後のほかない望みに決着をつける海戦が、マレーの水域で行われる可能性の方が強い。…机上に列挙できる海軍力の要素のすべてにおいて、日本が圧倒的にまさっている。…すでに戦いに敗れる運命にある英雄たち(バルチック艦隊のこの)に、世界はかたずをのんで脱帽している。」(出典:同前。)

「ロシアが日本に勝って制海権を握ろうという、最後のほかない望みに決着をつける海戦が、マレーの水域で行われる可能性の方が強い。…机上に列挙できる海軍力の要素のすべてにおいて、日本が圧倒的にまさっている。…すでに戦いに敗れる運命にある英雄たち(バルチック艦隊のこの)に、世界はかたずをのんで脱帽している。」(出典:同前。)

「ロシアが日本に勝って制海権を握ろうという、最後のほかない望みに決着をつける海戦が、マレーの水域で行われる可能性の方が強い。…机上に列挙できる海軍力の要素のすべてにおいて、日本が圧倒的にまさっている。…すでに戦いに敗れる運命にある英雄たち(バルチック艦隊のこの)に、世界はかたずをのんで脱帽している。」(出典:同前。)

米英からの借金で戦争

軍事的経済的にも日本を支援している。日本海軍の主要艦艇20万トンのうち、70%はイギリス製。特に三笠など戦艦全6隻はイギリス製。もちろん、無償譲渡ではなく、売却。イギリスはなんの損もしていない。イギリスが持っているおかしくない最新鋭戦艦を日本に提供している。

イギリスにも大きなメリットがある。日本が6隻の戦艦を持つことで、極東においてロシア海軍とのバ

丁寧なことに日本近海に來てから、最後の石炭積み込みをしている。近くにいたドイツ船がバルチック艦隊に石炭を供給する。乗組員総出で、石炭を背負って船をのぼって、自分の船に石炭をあげた。当時の水兵が一番嫌う重労働。これを日本海海戦の直前にやってヘトヘトというところで海戦。ロシア側は戦略・作戦に失敗した。日本側はそれを見抜いていた。こういう情報が支えていた。

「坂の上の雲」だと東郷が「うーん」と考えて、どのコースを通るか洞察した。本当は、バルチック艦隊がここにいるという情報が毎日毎日入っている。それほど悩まなくてもよかった。情報戦という点で、イギリスは日本側に全面的に組み立てた。延々と長くかかったので乗組員はヘトヘト。ご

が始まってから、イギリスの兵器メーカーのアームストロング社に消費量の半分以上を発注。ドイツのクルップ社にも発注している。しかし、発注にはお金が足りない。一番の問題は戦争にはお金がいること。どうしたのか。日本国民の税金や国債購入もある。しかし、日露戦争の戦費の4割以上は外国からの借金。これが

また、日本陸軍が使った鉄砲・大砲の弾の約半分はイギリスが供給したものだ。当時、工業力がまだなく、日本国内で作れない。戦争

【資料】日露戦争 戦時外国債 出典：大蔵省『明治大正財政史』第1巻／『金融六十年史』

	第1回	第2回	第3回	第4回	整理外債	合計
発行時期	1904年5月	1904年11月	1905年3月	1905年7月	1905年11月	
発行総額	£1,000万	£1,200万	£3,000万	£3,000万	£2,500万	£1億700万
邦貨換算額	9,763万円	1億1,716万円	2億9,289万円	2億9,289万円	2億4,408万円	10億4,468万円
実収額	8,683万円	1億0,046万円	2億5,116万円	2億5,114万円	2億1,226万円	9億1,855万円
利子歩合	6.0%	6.0%	4.5%	4.5%	4.0%	
発行価格	£93.10s.	£90.10s.	£90.00s.	£90.00s.	£90.00s.	
手数料	£3.10s.	£3.15s.	£3.05s.	£3.05s.	£2.00s.	
政府手取	£90.00s.	£86.15s.	£86.15s.	£86.10s.	£88.00s.	
担保	関税収入	関税収入	煙草専売益金	煙草専売益金	なし	
償還期限	7カ年	7カ年	20カ年	20カ年	25カ年	
発行地	ロンドン ニューヨーク	ロンドン ニューヨーク	ロンドン ニューヨーク	ロンドン ニューヨーク ベルリン	ロンドン ニューヨーク ベルリン パリ	



1968年の「明治100年式典」

緑江を渡って、最初はロシア軍を撃破する。ア軍を撃破する。クーン・レープ商会は、アメリカの鉄道王ハリマンが満州に鉄道を敷設するのを支援していた。日本が戦争に勝てば、ロシアが敷設した鉄道を日本がそのまま取りそうだ。しかし、日本には金がないから、ハリマンが出て行って共同経営しようと言え、日本は聞かない。ハリマンの最大の出資者がクーン・レープ商会。日露戦争の後、同商会の代表が来日。日本政府は最高勲章を授ける。

最初はそういう形で英国が日本の借金に応じた。その後、アメリカの大資本であるクーン・レープ商会が多額の日本国債を買う。実際の戦争費用は当時の金額で18億円。当時の国家予算の6倍。その4割を国債で賄った。クーン・レープ商会はユダヤ資本。日露戦争について書かれた本には、ロシア国内における反ユダヤ政策、ユダヤ人虐待があったからと書いてあることが多いが、全然違う。

この巨額な借金は戦争に勝ったからといって、チャラになるわけではない。借金は返さないと宣言する。しかし、敗戦で許されず。この借金は戦後1950年代によく返済された。日露戦争は戦後1950年代によく返済された。日露戦争はそれほどの負担を国民に与えた。この借金がなければ日本は戦争遂行ができなかった。お金が借りられた時にようやくイギリスから武器・弾薬が届く。それで満州で一会戦できる。なくなると、戦線が膠着する。日本は銃砲弾不足に悩んで、1904年5月の会戦では本場に弾薬がなくなっていた。日本軍の歩兵は突撃してくるロシア軍歩兵に石を投げた。当時ヘルメットがないので結構効く。必死に石を投げた。そして、日本側がロシア側を撃退する。それくらい銃砲弾不足に困った。日露戦争を経験した少し頭がいい軍人は、日本という国は外国から借金をしないと戦争ができないと解る。でも、ほとんどの軍人は石投げて勝ったんだと。こちらの方だけ印象に残る。勇敢に戦ったかもしれないが、日本には金がない。本当は戦争なんかできなかった。アメリカからの借金は借りたまま、日本はお金を借

元になった会社。クーン・レープ商会は鉄道王ハリマンが満州に進出するということで、日本国債を買った。先行投資した。そのために

まかれた日米戦争の種

この巨額な借金は戦争に勝ったからといって、チャラになるわけではない。借金は返さないと宣言する。しかし、敗戦で許されず。この借金は戦後1950年代によく返済された。日露戦争は戦後1950年代によく返済された。日露戦争はそれほどの負担を国民に与えた。この借金がなければ日本は戦争遂行ができなかった。お金が借りられた時にようやくイギリスから武器・弾薬が届く。それで満州で一会戦できる。なくなると、戦線が膠着する。日本は銃砲弾不足に悩んで、1904年5月の会戦では本場に弾薬がなくなっていた。日本軍の歩兵は突撃してくるロシア軍歩兵に石を投げた。当時ヘルメットがないので結構効く。必死に石を投げた。そして、日本側がロシア側を撃退する。それくらい銃砲弾不足に困った。日露戦争を経験した少し頭がいい軍人は、日本という国は外国から借金をしないと戦争ができないと解る。でも、ほとんどの軍人は石投げて勝ったんだと。こちらの方だけ印象に残る。勇敢に戦ったかもしれないが、日本には金がない。本当は戦争なんかできなかった。アメリカからの借金は借りたまま、日本はお金を借

アを押さえるために武器・弾薬も供給し、金も貸して戦争をやらせた。その後も金融的に支配するということを始めた。鉄道王ハリマンは戦争の終盤に来日する。当時の桂首相と懇談をして、日本は金がないから、ロシアから分捕った鉄道(後の満鉄)を共同経営しようを持ち掛けた。桂太郎は日本に金がないことはよく解っているのだから、喜んで受け入れる。ところがポーツマス講和

会議から帰ってきた小村寿太郎が日本人が血を流して取ったものをアメリカと山分けするのは許さないと大反対する。桂とハリマンの覚書は破棄される。ここにその後の日米対立の種がまかれた。アメリカは、日本とある程度足並みをそろえて、満州に進出しようとしていた。

明治礼賛論の中核は 日露戦争論

日露戦争が内外に与えた影響では、安倍談話にもあるが、アジアアフリカでのナショナリズムの高揚がある。有色人種に希望を与えたのは確か。トルコのイスタンブールには東郷通りができ、フィリピンで東郷ビルがで

て近隣の有色人種の支配を始めた。日露戦争が終わると、日本は直ちに韓国を保護国化した。韓国国王、政府がいるが、日本が韓国の外交権を行使する。韓国は日本を通じてしか、諸外国に発信できない状態にする。その後、併合する。日本国内でも、戦争に反対した人たちが次々と弾圧を受けていく。幸徳秋水は非戦論を唱えた。日露戦争の最中に、幸徳たちは日本人とロシア人は何ら戦う理由がないと。ロシア人に友好を求める電報を打ったりした。そういう人たちがいては困ると。韓国併合と同じ1910年。大逆事件によって、戦争反対派の大弾圧が行われる。それが十数年後、治安維持法という形で法制化されていく。

定する。これは明治以来の戦略。利益線を設定して国境を守るためには外側から守らないといけないという発想。これはまさにロシア脅威論によってつくられた考え方。ロシアをなるべく日本の本土から離れたところで食い止める。日本と朝鮮の国境で食い止めるのではなく、朝鮮と中国の国境で食い止める。そのためには日本が朝鮮半島に出なければならぬ。そして、それを繰り返そうとしたのが昭和の軍人たちは。結局は歴史認識の問題。

日露戦争論

その膨張が1931年満州州事変を契機として成功事例と受け取られた。満州事変も一度と、満州国をもう一つ作ろうとした。華北分離工作で北京周辺も蒋介石政権から分離してしまおうとした。

現在、私たちが日露戦争を見るときには、戦争自体と植民地支配、国内の弾圧という3つを必ず見たいかないと、非常に極端な話になってしまう。その後、日清・日露戦争を契機とした対外膨張が始まる。朝鮮を主権線化、領土化した。そうすると、その外側に利益線を満州に設

ところが、戦争をやっている一方と手を結んだので、どうにもならなくなる。結局、同盟が暴走するのにも日本も付き合う。ついにアメリカとの戦争に至る。近代の膨張主義戦略がベースにある。

司馬遼太郎流に言くと、昭和の軍人は明治の軍人がやったことをまねただけで、膨張主義戦略に基づいて日本はやってきた。明治時代は成功だった。それを繰り返そうとしたのが昭和の軍人たち。

山田朗 やまだあきら。明治大学教授。日本近現代史、軍事史、天皇制論。著書に『大元帥・昭和天皇』(新日本出版社)『軍備拡張の近代史——日本軍の膨張と崩壊』(吉川弘文館)『歴史修正主義の克服——ゆがめられた「戦争論」を問う』(高文研)『昭和天皇の軍事思想と戦略』(校倉書房)『護憲派のための軍事入門』(花伝社)『日本は過去とどう向き合ってきたか』(高文研)『兵士たちの戦場体験と記憶の歴史化』(岩波書店)『昭和天皇の戦争』(岩波書店) 他

たまま、日本はお金を借

森友学園疑惑が 改めて示すこと



このところ大きな動きを見せる森友学園問題。3月2日、朝日新聞が森友文書の改竄をスクープ。文書を改竄させられた近畿財務局の職員が「自分一人の責任にされてしまう」という遺書を残して3月7日に自殺していたことも明らかになった。

これを書いている時点でこの焦点は佐川元国税庁長官の証人喚問とその内容であった。

安倍晋三の「私や妻がかかわってれば首相も国会議員も辞める」(17年2月17日)という国会答弁との辻褄を合わせるために、これらの森友文書は改竄されたと見られている。首相夫妻の疑惑を隠蔽するために公文書を改竄することが公務員の仕事となってしまったわけだ。

昨年の自己保身解散で、小池・前原のアシストもあり、第二次安倍政権は延命。森友問題は終わったこととして、2020年改悪憲法施行を目指し、9月安倍3選、9条改憲年内発議に突進しようとしている。だが、森友問題を解決したことはできなかった。

国会や首相官邸前では連日デモが行われている。それだけでなく、先日の自民党・和田議員の「意図的に安倍政権を貶めようとしたのではないか?」という質問にはさすがに財務官僚も怒っただろう。

疑惑の中心人物である安倍昭恵が出てきて説明するのを拒否し続ける限り、問題が「解決」することはない。

なぜ安倍一強の付度政治がまかり通ってきたのか。90年代以降のナショナリズムの高まり、民主党政権の自壊などさまざまな原因があるが、要因の一つは第二次安倍政権が官僚人事を掌握するために「内閣人事局」を作ったことだ。政財官トライアングルが言われた時代、政治家に官僚の人事権はなかった。

ここ20年、新自由主義的な行革路線からの官僚批判、市民主義的な官僚批判が行われてきた。民主党政権は「政治主導」を掲げた

が、結局新自由主義行革路線に傾斜したと言えるのではないのか。内閣人事局発足に多くの人が反対しなかったように思う。新自由主義者による過度な官僚敵視とその宣伝によって国民の間にも「官僚は悪」のような風潮が広まっていたのは否めない。

アメリカの政治任用制度は知られているが、小選挙区制など90年代「政治改革」のモデルとされたイギリスの官僚人事制度を見ると、各省の事務次官などの人事は、中立機関として存在する「国家公務員人事委員会」が候補者を1人選び、首相に推薦している。大臣は選定にある程度関与することができようだが、人事の中立性は一定保たれている。それとは別に大臣は特別顧問として個人的に選定した人物を任用できる。

今回の疑惑で官邸による恣意的な運用を許さないための官僚人事制度の改革、情報隠蔽をさないための公文書管理、情報公開制度の改革が必要であることがはっきりした。

何よりも、安倍政権がこんなに長く続くのを許してしまっただけで、「安倍晋三・昭恵」の意向を官僚が忖度する政治となった原因はなかった。

政治の転換の出発点は、権力に近い者が不正に利益を得る縁故資本主義を跋扈させている安倍政治を退場させることだ。(3月21日)

谷島

人間に残された領域

(6面から続く)

進行していることが不気味な寡占化もそれと相乗的に

足したりそれを楽しんだりする力のことだ。これも機械には(人間にも)永遠に解けない問題として残り続けるだろう。

しかし労働の寡占化によって社会編成が変容していったとき、ベーシック・インカムが補償するのは、単に報酬を受け取るステータス、それも再分配の場面に限られており、それ以外の社会的な連関は手つかずのまま放置されていく。

ベーシック・インカムを余儀なくされるような労働の寡占化が進んだとき、社会的に何をどのくらい生産すればいいのかは誰がどうやって決めるのか、一人一人の労働の動機をどこに求めるのか等の新たな問題が出現する。社会の安定的な均衡をどうやって実現するか、人生の目標をどこに据えるのかが問われるのである。あるいは日本国憲法でも

AIの急速な発展は、文法的、哲学的な問題もはらんでいる。「AIは人間のすべてを実現し凌駕してしまうのか」という、言い古された、しかし深刻な問題である。

そんなことは杞憂で人間の持つ創造性やアイデア、文化や芸術の分野は機械に置き換えられるはずはない、という主張も根強い。しかし本当にそうか。

コンピュータは、人間の論理力を機械化したものだという側面がある。だから対象化されたものは、対象化された限りにおいて原理的にはすべてがAIに置き換え得る。

誰もが大量に撮りためて收拾がつかなくなっているデジタルの写真の中から「いい」写真を選び出して自動的に「アルバム」を作ってくれるアプリを開発した。あるいは昨今のテレビの力ラオケ・コンテストの審査員は今やほとんどがコンピュータである。芸術作品を生み出すのも鑑賞・評価するのも機械である、というディストピア社会がすぐそこまで来ているのではないのか。

また、創造的と言われる分野も、内実は、過去の膨大な体験や記憶、知識や思索の蓄積を基盤にして、そ

「身体性」とは、痛み、感覚や風を切って走る爽快感などといったものだ。これらの感覚は最後のところで身体を持たない限り獲得することができない。「自己同一性」とは、自己回帰的、自己言及的な領域と言いつけることもできる。「自分は今幸せだ」と確信したり、自らの人生に満

むしろ芸術や思想は、現実には人間の身体性や自己同一性と深く関わっているのだが、AIの「脅威」は、人間の何を最後に大事にしなければいけないかをかえって浮き彫りにしてくるのではないのか。

現代の資本主義社会は、かつてアダム・スミスが「見えざる神の手」と呼んだ「利己心」を主たる動機とする市場経済によって成り立っているが、これもまた再編成を迫られるかもしれない。

AIの進化について将来予測することは難しい。AI分野では十年予測などは無意味だという意見もある。この論考も話題に上った断片的なくつかのエピソードを集め、その影響を現時点で様々な想像してみたいのだが、まだ解けていない問題ばかりである。今日では、コンピュータに身体性をも組み込むという研究さえ行われている。一方で兵器へのAIの導入や装着を禁止しようという動きも始まっている。

AIの登場は確かに衝撃的だ。しかし「労働の寡占化がさらに進行する時代に備えて新たな社会統合のためのシステムや原理を今から構想すべきだ」とも一概に言い切れない。逆に「労働が寡占化されないような社会のあり方こそを追求すべきだ」という議論も重要だからだ。将来の社会像を模索するそれらの「知的な設計」がどこまで有効なのかも含めて、私たちに多くの問題が突き付けられている。

社会編成の変容とベーシック・インカム

労働の寡占化が進むという予測を背景に、経済学者の井上智洋はベーシック・インカムの導入を提唱している。AIの発達や普及により生産や労働の寡占化が進んでいくのは間違いない。将来の経済政策としてベーシック・インカムを採用しようという学者は多い。ベーシック・インカムはかつて考えられていたようなユートピア的な理想論ではなく、もはや近い将来

おわりに

AIの進化について将来予測することは難しい。AI分野では十年予測などは無意味だという意見もある。この論考も話題に上った断片的なくつかのエピソードを集め、その影響を現時点で様々な想像してみたいのだが、まだ解けていない問題ばかりである。今日では、コンピュータに身体性をも組み込むという研究さえ行われている。一方で兵器へのAIの導入や装着を禁止しようという動きも始まっている。

なぜ再稼働 できるのか!

楢葉町で福島県民大集会を開催



ならば天神太鼓

この日の地元紙1面は、前日の福島原発被害東京訴訟の過酷さを実際に見て感

3月17日、2018原発のない福島を1県民大集会が行われ、3300人が参加した。主催は実行委員会、県民集会としては初めて、被災地で福島第二原発がある楢葉町の天神岬スポーツ公園で開催された。

判決が原発事故での国の責任を認め、賠償を命じたことを報じていた。社会面では、全国の自殺者が減少する中、昨年の震災関連の自殺者が4人増えて26人となり、その内12人が福島県であることが報じられていた。さらに、3・11後「安全・安心キャンペーン」の先頭に立っていた山下俊一が福島県立医大常勤副学長に4月から復職することを報じていた。

集会のオープニングでは、歌、郷土芸能のならば天神太鼓が行われた。

角田政志実行委員長は「被災地での集会には様々な意見が投げかけられた。様々な選択が迫られ、分断があるのが福島の現状。帰還しても以前の暮らしを取り戻せない人、帰還をあきらめた人、今も思い悩む人がいる。」

風化が進む中で、原発事故の過酷さを実際に見て感

福島原発事故のあの日から7年。帰還・復興・再生・未来などの言葉が飛び交い、五輪を控え、莫大な予算が投じられ、イノベーションコースト構想などが進められている。

福島県は避難者を早くゼロにしたい考えだが、その陰で苦しんでいる多くの人がある。年間被曝線量20ミリシーベルトを下回る地域を防護策もなしに帰還対象としている。商店、交通手段もなく、野生動物が生息している。

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

「被災地での集会には様々な意見が投げかけられた。様々な選択が迫られ、分断があるのが福島の現状。帰還しても以前の暮らしを取り戻せない人、帰還をあきらめた人、今も思い悩む人がいる。」

福島原発事故のあの日から7年。帰還・復興・再生・未来などの言葉が飛び交い、五輪を控え、莫大な予算が投じられ、イノベーションコースト構想などが進められている。

福島県は避難者を早くゼロにしたい考えだが、その陰で苦しんでいる多くの人がある。年間被曝線量20ミリシーベルトを下回る地域を防護策もなしに帰還対象としている。商店、交通手段もなく、野生動物が生息している。

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

でももらいたい。福島の実を多くの人に広めてもらうことが重要だと開催することにした。

東電は、私たちが強く求める福島第二原発即時廃炉を未だに明言していない。再び原発事故を起こさせないために原発がない社会をつくらなければならない。

鎌田慧さん(ルポライター)は「政治を私物化する内閣が核廃棄物をどうするかも決まっていないうちに、原発再稼働を進めている。このような内閣は打倒の対象ではない。私たちの追撃はまだ弱い。再稼働は認めない。民主主義を一步でも進める運動として脱原発はある。民主主義を破壊しよう」

被災地の県民集会開催は「間違った復興政策に加担しているように見える」と批判をされた。

この中で様々な損害賠償、刑事などの裁判が行われている。東電幹部3人の刑事責任を追及する裁判では証言専門が進むたびに隠された真実が明らかになっている。

被災地の県民集会開催は「間違った復興政策に加担しているように見える」と批判をされた。

この中で様々な損害賠償、刑事などの裁判が行われている。東電幹部3人の刑事責任を追及する裁判では証言専門が進むたびに隠された真実が明らかになっている。

福島原発事故のあの日から7年。帰還・復興・再生・未来などの言葉が飛び交い、五輪を控え、莫大な予算が投じられ、イノベーションコースト構想などが進められている。

福島県は避難者を早くゼロにしたい考えだが、その陰で苦しんでいる多くの人がある。年間被曝線量20ミリシーベルトを下回る地域を防護策もなしに帰還対象としている。商店、交通手段もなく、野生動物が生息している。

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人

精神的賠償・家賃補助は打ち切られる。たちまち困窮し、ホームレスになる人



発言する伊波洋一参院議員

3月13日、岩礁破砕差し止め訴訟で那覇地裁は、国の違法な岩礁破砕の差し止めを求めた沖縄県の訴えについて門前払いの不当判決を下した。昨年3月末に沖縄県による岩礁破砕許可が失効したまま、国は漁業権は消滅したとして工事を強行してきた。

裁判所は県が訴えることができないとして、漁業権

3月14日、山城博治さん(沖縄平和運動センター議長)ら3人が辺野古や高江での抗議行動で不当逮捕・起訴された刑事弾圧裁判で、那覇地裁は山城さんに懲役2年(求刑懲役2年6月)、執行猶予3年の不当判決を下した。他の2人も不当な有罪判決だった。

判決は、辺野古の米軍キャンプ・シユワフゲート前でブロックを積んで米軍基地建設の資材搬入への抗議したことや高江での行動を威力業務妨害などで有罪とするなど、表現の自由を侵害する不法弾圧を正当化した。「反対運動のリーダー」的存在として主導的役割を果たし共犯者らの犯行をあ

の有り無について審理せず判断しなかった。県知事から許可を受ける義務確認の訴えも退け、工事差し止めの仮処分申し立ても却下という司法の独立を放棄し安倍政権に追随した不当判決だった。

3月14日、山城博治さん(沖縄平和運動センター議長)ら3人が辺野古や高江での抗議行動で不当逮捕・起訴された刑事弾圧裁判で、那覇地裁は山城さんに懲役2年(求刑懲役2年6月)、執行猶予3年の不当判決を下した。他の2人も不当な有罪判決だった。

判決は、辺野古の米軍キャンプ・シユワフゲート前でブロックを積んで米軍基地建設の資材搬入への抗議したことや高江での行動を威力業務妨害などで有罪とするなど、表現の自由を侵害する不法弾圧を正当化した。「反対運動のリーダー」的存在として主導的役割を果たし共犯者らの犯行をあ

福島原発事故から7年。3月11日、「東京電力は日本原電の債務保証をするな!」東電は原発事故の責任をとれ 第54回東京電力本店合

同抗議行動」が経産省前デントひろばなどの呼びかけで行われ、900人が参加した。

東電本店前では太鼓、原発事故被害者からのアピール、東電への申し入れなどが行われた。

続いて、神田にある日本原電本店前での抗議行動が再稼働阻止全国ネットワークの呼びかけで行われた。東海村の村上達也前村長は、東海第二原発の即時廃炉、脱原発を訴えた。

同抗議行動」が経産省前デントひろばなどの呼びかけで行われ、900人が参加した。

福島原発事故から7年。3月11日、「東京電力は日本原電の債務保証をするな!」東電は原発事故の責任をとれ 第54回東京電力本店合

同抗議行動」が経産省前デントひろばなどの呼びかけで行われ、900人が参加した。

東電本店前では太鼓、原発事故被害者からのアピール、東電への申し入れなどが行われた。

続いて、神田にある日本原電本店前での抗議行動が再稼働阻止全国ネットワークの呼びかけで行われた。東海村の村上達也前村長は、東海第二原発の即時廃炉、脱原発を訴えた。

同抗議行動」が経産省前デントひろばなどの呼びかけで行われ、900人が参加した。